

見学旅行のご報告

9月26日～27日、2015年度関西支部見学会が実施されました。今回は以前から温めてきた特別企画「飛騨高山での家具工場とフィン・ユール邸復元施設見学」です。関西インテリアプランナー協会やインテリア設計士協会からの参加者もあり、様々な情報交換の行われる場ともなりました。

1日目は日進木工(株)を訪れ、通常見ることは難しい木工家具製作や文化財修復の現場を視察しました。木材の保管から、木取り、曲木などの加工、組み立て、塗装、張り仕上げまで詳細な説明を受けながら見て回り、また城郭の修復作業に関し、欄間の組子など職人技に触れることもできました。その後、飛騨・世界生活文化センターにて匠展を見学、家具製作の歴史、対して新しい取り組みなどを知りました。

宿泊はホテルアソシア高山リゾートにおいてです。漆原美代子氏が手掛けられたインテリアデザインと北アルプスのパノラマが広がる展望温泉に癒され、懇親会後の二次会では、今後の支部の活動について、関西インテリアプランナー協会やインテリア設計士協会など他会との連携を深める必要性が話し合われ、親睦に加えて意義深い時間を持ちました。

2日目はキタニ木工(株)で、ショールームと復元されたフィン・ユール自邸を視察しました。北欧名作家具のライセンス生産については、オリジナルデザインをただ復刻するのではなく、飛騨高山の地で培われたモノづくりの精神が生かされているとの説明を受け、山々の緑を取り込んだショールームのありように納得し、また感心しました。フィン・ユール自邸はキタニ木工(株)を中心とし、設立されたアート・ミュージアムクラブ方々の支持を得て図面に忠実に復元されたものです。その空間体験からは、スケール、材質、色彩などフィン・ユール氏の人への繊細な思いを感じ取ることができ、多くの貴重な教示を受けました。雪深い高山の地にたつこの家の、冬の姿を見てみたいといった言葉も聞かれました。

匠の技と美酒に酔って解散となりましたが、その後も伝統的建造物群保存地区を見学したり、郷土料理を求めたりと名残惜しいなか、それぞれ帰途につきました。

記：西山紀子

見学会風景

